

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月14日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社ジェーシー・コムサ

コード番号 2876 URL <http://www.jc-comsa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和田 隆介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 野田 忠克

TEL 03-5722-7261

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,207	10.4	225	△1.1	201	2.5	101	△42.2
21年3月期第1四半期	3,811	—	227	—	196	—	175	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	12.73	—
21年3月期第1四半期	22.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	9,324	2,203	23.6	276.91
21年3月期	9,038	2,156	23.9	271.00

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,203百万円 21年3月期 2,156百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,000	2.1	200	△56.3	200	△44.2	100	△29.6	12.56
通期	17,000	5.3	600	△22.7	500	△15.4	250	△24.7	31.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 8,477,890株 21年3月期 8,477,890株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 520,150株 21年3月期 519,050株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 7,958,246株 21年3月期第1四半期 7,961,348株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機の影響を受けたのち、マクロ経済の底打ち感が出つつあるものの、雇用・所得環境は依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが所属する食料品・外食業界におきましては、引き続き個人消費の下げ止まり感の兆しがみられず、大手外食レストランチェーン店が本格的なリストラに着手するなど、厳しい状況が続いております。

こうした環境の中で、当社グループは経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追求し、「食の安全・安心」を第一に掲げて業績の向上と財務体質の改善を図り、強い経営基盤の確立に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,207百万円（前年同四半期比10.4%増）となり、利益面では営業利益は225百万円（同1.1%減）、経常利益は201百万円（同2.5%増）、四半期純利益は101百万円（同42.2%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(1) ピザ関連事業（食料品事業）

ピザ関連事業（食料品事業）におきましては、主要原料のチーズ及び小麦粉価格は一段落したものの、引き続き競争の激化に伴う厳しい事業環境が続いておりますが、引き続き自社製品の生産から販売に至る工程の効率化を中心として採算の悪いアイテムの削減及び対策を打ってまいりました。

営業部門におきましては、販売アイテム数の整理、重点自社製商品の販売強化を実施することで、収益の確保、増大を図ってまいりました。生産部門におきましては、生産能力の向上、変動労務費の削減、製品の歩留まり改善に努めてまいりました。

また、お客様からのクレームをなくすための「クレームゼロ運動」は、生産現場の改良、包装資材の改善や全社的な意識向上を高め、一定の成果を挙げることができました。

その結果、売上高は2,311百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益は329百万円（同28.7%増）となりました。

(2) 外食事業

外食・中食事業を展開するコムサ事業本部並びに連結子会社である株式会社ファンシーコーポレーション及び株式会社サム・アップ、株式会社上海エクスプレスにおきましては、店舗の「磨き込み」を基本政策として、オペレーションの見直しを積み重ねるとともに、パート社員のコストコントロールやフードコストの管理強化、調理・販売価格の見直しを行い、店舗粗利益の向上を図ってまいりました。

また、競争力のある店舗立地の獲得と不採算店舗の整理によるスクラップアンドビルドを進めてまいりました。

その結果、売上高は1,895百万円（前年同四半期比17.1%増）、営業利益は62百万円（同50.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,324百万円となり、前連結会計年度末より285百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は7,120百万円となり、前連結会計年度末より239百万円の増加となりました。これは主に、借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,203百万円となり、前連結会計年度末より46百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成22年3月期）の業績見通しにつきましては、現時点においては当初予定していた範囲を超えて推移しておりますが、先行き経済環境は依然として不透明感が強く、前回発表（平成21年6月26日）の連結業績予想を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303,934	1,909,391
受取手形及び売掛金	1,863,430	1,814,299
商品及び製品	358,822	383,915
原材料及び貯蔵品	195,799	215,210
その他	185,033	239,179
貸倒引当金	△3,777	△3,655
流動資産合計	4,903,243	4,558,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,434,597	4,553,085
減価償却累計額	△2,835,608	△2,901,776
建物及び構築物(純額)	1,598,988	1,651,309
その他	3,348,195	3,332,016
減価償却累計額	△2,176,215	△2,164,010
その他(純額)	1,171,979	1,168,005
有形固定資産合計	2,770,968	2,819,314
無形固定資産		
投資その他の資産	80,048	83,780
敷金及び保証金	973,887	985,057
その他	610,294	606,396
貸倒引当金	△14,172	△14,345
投資その他の資産合計	1,570,009	1,577,109
固定資産合計	4,421,027	4,480,204
資産合計	9,324,271	9,038,547

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,076,604	1,246,001
短期借入金	1,984,589	1,519,864
未払法人税等	37,710	245,234
賞与引当金	93,022	136,573
その他	1,324,436	1,324,238
流動負債合計	4,516,362	4,471,911
固定負債		
社債	87,500	140,000
長期借入金	2,072,940	1,858,772
退職給付引当金	316,874	316,687
役員退職慰労引当金	31,423	25,858
その他	95,630	68,438
固定負債合計	2,604,368	2,409,755
負債合計	7,120,731	6,881,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,810	823,810
資本剰余金	1,043,657	1,043,657
利益剰余金	336,730	291,125
自己株式	△6,933	△6,798
株主資本合計	2,197,265	2,151,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,437	2,252
繰延ヘッジ損益	837	2,833
評価・換算差額等合計	6,274	5,085
純資産合計	2,203,539	2,156,880
負債純資産合計	9,324,271	9,038,547

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,811,519	4,207,425
売上原価	2,115,698	2,271,187
売上総利益	1,695,820	1,936,237
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	605,759	743,043
賞与引当金繰入額	44,111	50,961
退職給付費用	7,428	8,869
役員退職慰労引当金繰入額	5,202	5,565
貸倒引当金繰入額	282	85
その他	805,132	902,307
販売費及び一般管理費合計	1,467,916	1,710,831
営業利益	227,904	225,405
営業外収益		
受取利息	1,101	1,050
受取配当金	2,172	—
その他	3,796	11,026
営業外収益合計	7,070	12,077
営業外費用		
支払利息	29,622	23,563
その他	8,475	12,202
営業外費用合計	38,098	35,765
経常利益	196,876	201,717
特別利益		
固定資産売却益	—	200
受取補償金	26,512	—
特別利益合計	26,512	200
特別損失		
固定資産売却損	—	4,708
事務所移転費用	—	2,370
固定資産除却損	594	8,123
店舗閉鎖損失	2,558	7,891
投資有価証券評価損	838	—
その他	—	1,630
特別損失合計	3,990	24,722
税金等調整前四半期純利益	219,398	177,194
法人税、住民税及び事業税	44,413	29,777
法人税等調整額	△437	46,099
法人税等合計	43,976	75,877
少数株主利益	215	—
四半期純利益	175,206	101,316

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。